

令和5年3月27日  
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所  
令和4年度第3四半期運転状況報告について

# 志賀原子力発電所運転状況

## 1. 発電所の運転状況（令和4年10月～12月）

### (1) 1号機

#### a. 運転実績

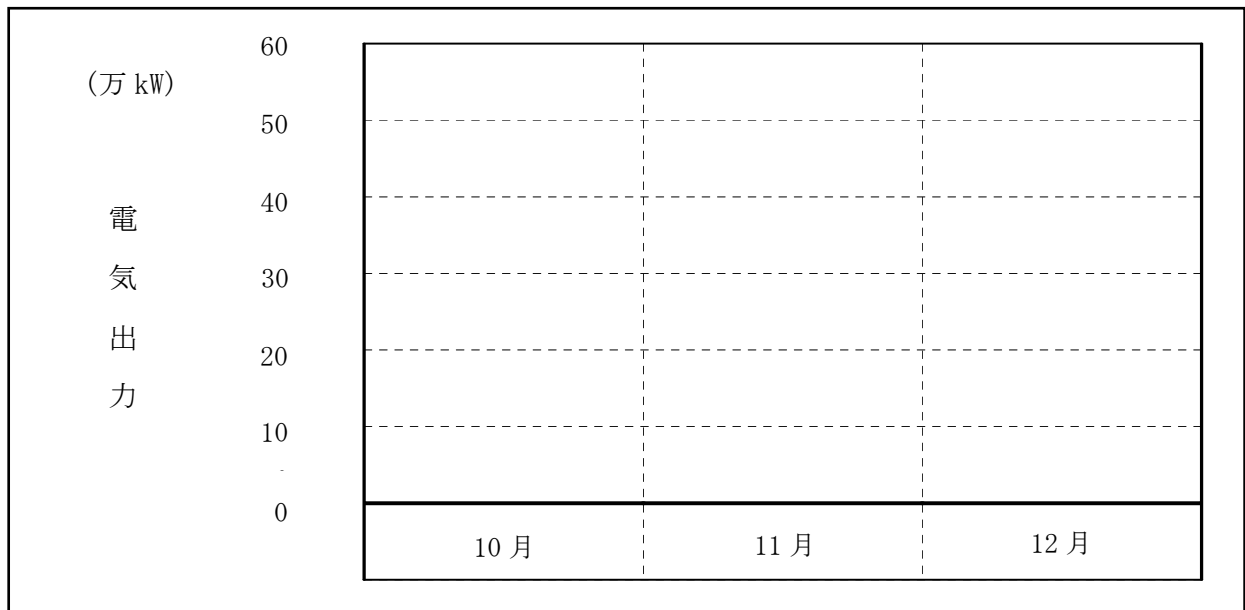
項目	単位	10月	11月	12月	備考
認可出力	万kW	54			
発電時間	時間	0	0	0	
発電電力量	100万kWh	0	0	0	
時間稼働率	%	0	0	0	
設備利用率	%	0	0	0	

注)

$$\cdot \text{時間稼働率} = \frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100(\%)$$

$$\cdot \text{設備利用率} = \frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100(\%)$$

#### b. 運転線図



[特記事項]

年月日	内容
(平成23年10月8日)	第13回定期検査開始

(2) 2号機

a. 運転実績

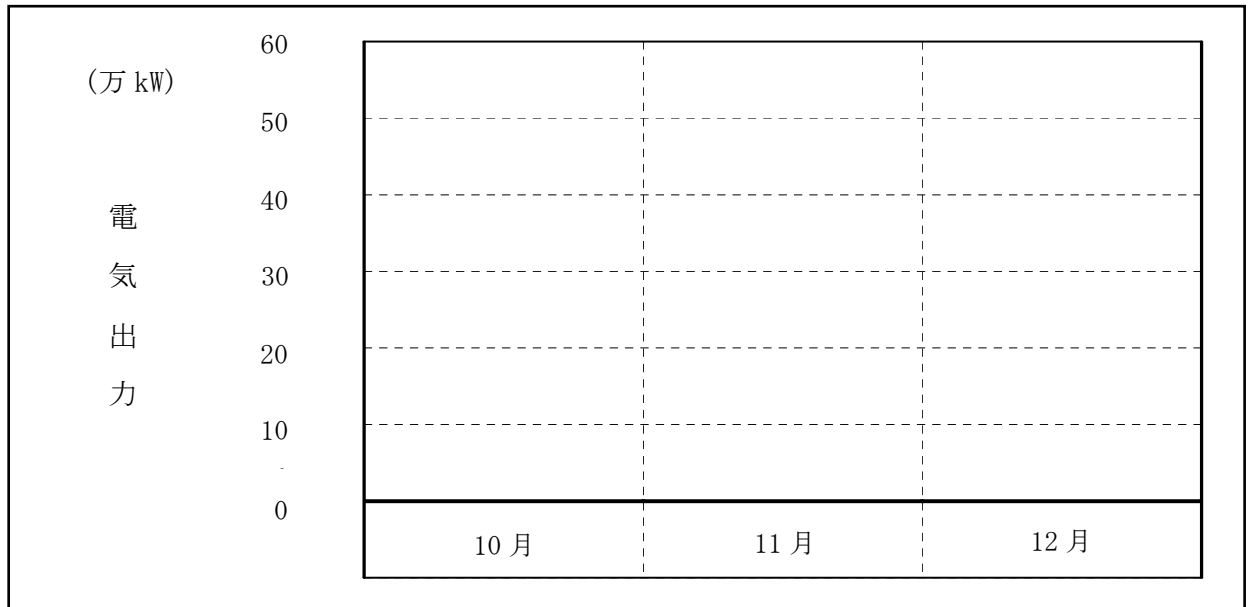
項目	単位	10月	11月	12月	備考
認可出力	万kW	120.6			
発電時間	時間	0	0	0	
発電電力量	100万kWh	0	0	0	
時間稼働率	%	0	0	0	
設備利用率	%	0	0	0	

注)

$$\cdot \text{時間稼働率} = \frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100(\%)$$

$$\cdot \text{設備利用率} = \frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100(\%)$$

b. 運転線図



[特記事項]

年月日	内容
(平成23年3月11日)	第3回定期検査開始

## 2. 放射性廃棄物の放出及び保管状況（令和4年10月～12月）

### (1) 気体廃棄物の放出量

（単位：Bq）

	放射性希ガス		放射性よう素	
	当該四半期の放出量	管理目標値	当該四半期の放出量	管理目標値
原子炉施設合計	——	$2.3 \times 10^{15}$	——	$4.8 \times 10^{10}$

注) 放出放射性物質濃度が検出下限値未満（ND）の場合は、放出量を「——」で示す。

### (2) 液体廃棄物の放出量

（単位：Bq）

	トリチウム以外		トリチウム	
	当該四半期の放出量	管理目標値	当該四半期の放出量	管理基準値
原子炉施設合計	——	$7.4 \times 10^{10}$	——	$7.4 \times 10^{12}$

注) 放出放射性物質濃度が検出下限値未満（ND）の場合は、放出量を「——」で示す。

### (3) 固体廃棄物の発生量等

発生量		減少量		期末 保管量 (本相当)	貯蔵設備 容量 (本相当)
ドラム缶 (本)	その他 (本相当)	発電所内 (本相当)	発電所外 (本相当)		
108	0	0	0	6,405	10,000

注) 減少量(発電所内)は、発電所内で分別・充填処理を行うために減少した放射性固体廃棄物の保管本数。

注) 減少量(発電所外)は、日本原燃(株)低レベル放射性廃棄物埋設センターへ搬出した本数。

## 3. 放射線業務従事者の線量（令和4年10月～12月）

	放射線業務従事者 (人)	総線量 (人・Sv)	平均線量 (mSv)
合計	736	0.00	0.0

注) 線量の検出下限値は0.1 mSv

4. 線量率の測定結果（令和4年10月～12月）

単位：nGy/h

モニタリングポスト	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (H31.4～R4.3)
MP-1*	110	24.4	28.7	—
MP-2	117	29.6	35.7	22.2～111
MP-3	115	25.5	30.8	19.0～106
MP-4	111	31.5	37.2	22.6～108
MP-5	110	25.8	31.0	18.1～104
MP-6	125	33.9	39.0	23.1～119
MP-7	118	25.0	29.4	17.7～117

\*：MP-1は平成30年8月31日の大雨により故障し、令和元年6月12日に復旧した。  
MP-1復旧に伴い周辺環境が変化したため、「過去の測定結果」については「—」とした。

以上